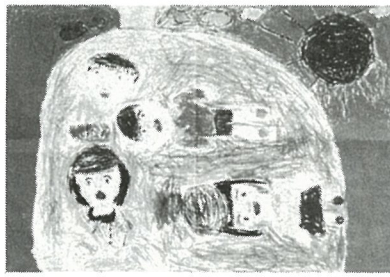




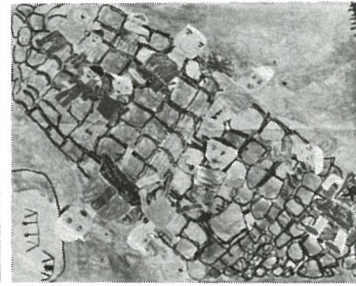
1年1組



1年2組



2年1組



2年2組

発表会のために共同制作した作品です。

東陽小で田植え

五月十六日、東陽小学校の五年生六十三名が田植えをしました。田んぼに入る前には、ちよつと抵抗があったようですが入ってしまつと、とっても楽しそうであつたという間に五アール程の田んぼは緑色に染まりました。秋には収穫したお米で親子ライスカレー給食の予定もあるそうです。



シリーズ

我が家の家庭教育

宮内 藤城 洋子

我が家は、中学三年と小学五年の男子、小学三年の女の子の三人の子供達、それに私達夫婦と両親の七人家族です。三人の子供達は、同じように育てたつもりでも、三人三様、食物の好みも、性

格も考え方も違います。私達夫婦と両親で子供達の話をよくしますが、それぞれの立場によって、子供に対する考え方も違い、子供を一面から見つめることもなく、母親としても勉強になります。

敬神崇祖の心を中心に、感情豊かに伸びと素直に育ってくれればと思いつつ、「三つ子の魂 百まで」という、こゝろとわががあるように、乳児期、幼児期は、深い愛情を抱きながらも厳しく躱てきました。朝晩の「おはようございます」「おやすみなさい」また、食事時の作法など、幼い時に厳しく躱られ、体で覚えていれば、おとなになつても照れることなく、ごく素直に自然にできると思っています。

親の仕事に対する情熱を見せ、家の手伝いをさせることにより、「仕事を通しての喜び」を体得させ、思いやりの心を育ませたいと思います。毎日の生活のリズムを守ることに、子供たちの生活を健全なものにして、学校生活、社会生活を全般の中で、豊かな体験をもたせる、よい価値体験こそが、心豊かな、暖かな思いやりの心を持ったおとなになつてくれるにちがいないと信じます。

子供達は、それぞれの人生を自分で切り開いていってほしい。親は、それを暖かく見守りながら、子供の成長とともに、自分達も向上していけたらと思います。家庭の「ぬくもり」を味わつて成長した子は、決して人の道にそれることがないと信じ、家族の和を大切に、よりあたたかである家庭をめざしていきたいと思ひます。

ひかり俳壇

笹青し塩焼き鮎のピンと反り

岩田 慶雄

熱き茶の何より甘し花疲れ

越川せつ子

茄子苗二本植えて二人の生活かな

鈴木 つね

神苑に語り合ふ巫女若葉風

伊藤 幸枝

町議選終えて静かな春の雨

大木静波子

芍薬の蕾嬉しくかぞえけり

椎名 カツ

日暮れてもまだ光りおり柿若葉

土屋 好

記念樹の樺並木や若葉晴

布施 和代

新らしき障子に映えて庭若葉

藤代 敏子

老鶯や失ひしもの身の中に

椎名しげる